

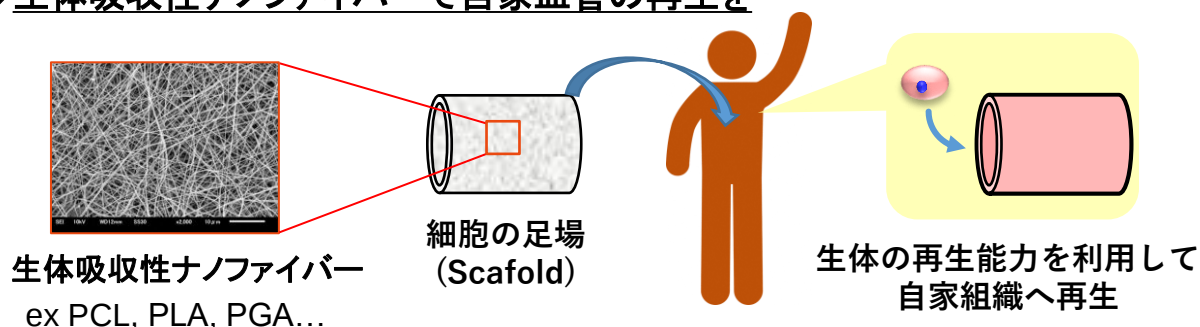
冠動脈バイパス術のグラフト材としての生体吸収性ナノファイバーグラフトの研究

<研究概要>

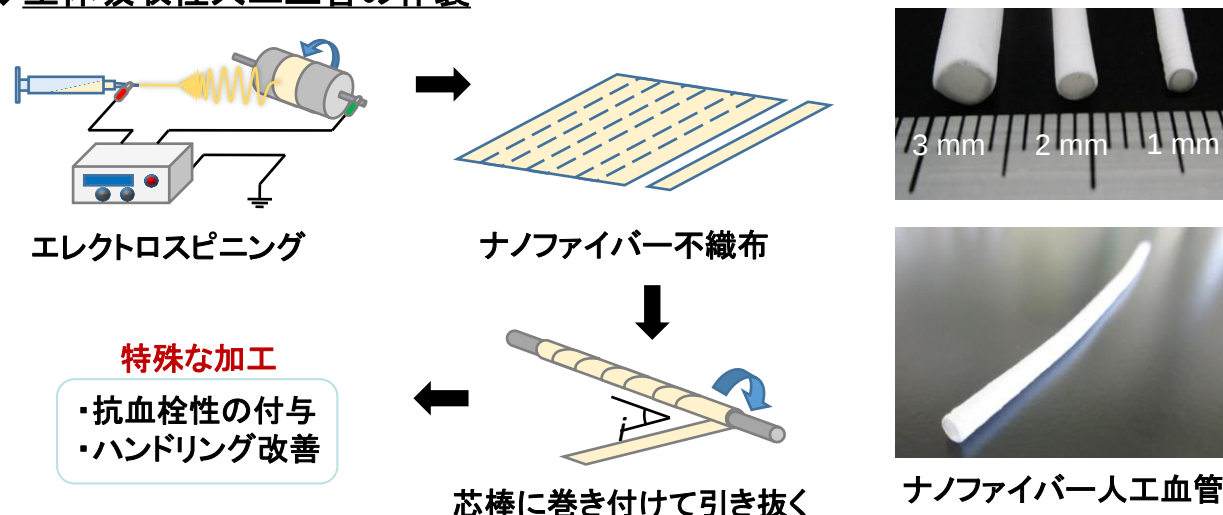
直径4 mm以下の人工血管(グラフト)は、開存性が低いことから実用化に至っていないが、動脈硬化性疾患などにおける需要は高く、開発が望まれています。本研究では、生体吸収性のナノファイバーを用いて、最終的に自家組織化される、心臓の冠動脈バイパス手術に使用可能な人工血管の開発を目指しました。

<研究内容>

◆生体吸収性ナノファイバーで自家血管の再生を



◆生体吸収性人工血管の作製



◆ラットへの移植実験

